

平成26年度 加茂市・南蒲原郡教育課程部 活動報告

部長 亀倉 伸嘉

加茂市と南蒲原郡が一緒に活動する体制はない。ここでは、それぞれの活動について述べる。

1 加茂市の取組

加茂市では、「教務主任会」を通して、各校の取組の紹介や情報交換を行い、教務主任会の立場から自校の教育課程・教育内容の見直しを図っている。

〈教育課程に関わる今年度の内容〉

- 7月：各校の「教育課程の大綱」「年間行事予定」について
- 10月：学校評価計画作成について
- 11月：各校の教育課程に関する課題について（防災教育の取組について）
- 2月：来年度の年間行事予定及び新年度教育計画作成について

〈成果と課題〉

学校評価については、内容に改善を加えたり評価方法を工夫したりと、各校で見直しを図りながら取り組んでいることが分かり、新たな視点を得ることができた。今後は、自校にあった、より有効な取組を推進していく必要がある。

各校の教育課程に関する課題について情報を共有し、それぞれの学校規模や職員構成を活かしながら、教育活動に取り組んでいることが分かった。今後はそうした工夫を活用し、自校化していく必要がある。

2 田上町（南蒲原郡）の取組

田上町では「田上の子は田上で育てる」という目標に向かって「田上の12か年教育」を策定し、その具現化に向けて教職員相互の緊密な連携を図るとともに、教職員の資質向上に資する事業を行っている。

〈研究活動の実際〉

(1) 研究活動の組織について

- 総会、評議員会(各校の校長・教頭・教務・研究主任)、部長・副部長会を置き年間計画に基づいて各事業についての調整等を図る。
- 全会員が所属する教科・領域のA部会とその他の分掌部会のB部会を構成し、研究活動を推進する。

(2) 各組織の活動について

A部会は、原則年間3回の研修の場を設定し、講演会や実技指導等の実施及び各校の授業公開を通して指導力の向上、指導計画の充実等を図る。B部会は、必要に応じて適宜部会を設定し、多様な研究活動及び情報交換を実施する。

(3) 研究刊行物について

田上町教育研究協議会の委託事業として「田上の教育」を発刊する。

(4) 幼・小・中の連携の推進

田上町研究協議会として幼・小・中の連携を探るために幼・小ではアプローチ・スタート・カリキュラムを作成し、小1プロブレムの理解をめざしている。更に小・中の連携を深めるために、算数、数学科と外国語(英語)の指導案及び接続プランを小・中協働で作成し授業改善に取り組んでいる。H26は、新たに理科の接続プランの作成に着手した。

(5) その他

夏季全体研修会の実施

講師 新潟大学教育学部教育科学講座教授 神村栄一様

演題 「児童生徒の問題行動とその対策方法」